

令和6年度 シリーズ：声を「きく」

第1回 10月5日(土)「精神疾患当事者/精神科医から」終了
第3回 2月15日(土)「企業から」を予定しています!

精神障害者・発達障害者雇用企業サポート事業 講演会

第2回「発達障害当事者が語る就労体験／

作業療法士からの提案

「職場で役立つちょっとした工夫～身体感覚運動の視点から～」

D-PORTは、企業と障害者の「声」を拠り所に事業を展開してきています。

「雇用の質」が求められる今、「障害者雇用」を通して何を実現していくのかを共に考え、実践の手がかりとする機会として、『講演会 ～シリーズ声を「きく」～』を企画いたしました。

第2回目は発達障害当事者と作業療法士からの「声」をお届けします。

発達障害は、外見からはなかなか特性が分かりにくいいため、的確な育成の手がかりを見つけにくいのではないかと考えられます。

そこで、D-PORTと関わりのある発達障害の人たちから、働くこと・暮らすことに関する様々な考えや気持ちをリアルにお伝えし、企業や支援機関等の方々との相互理解を深めることで、誰もが働きやすい環境づくりへの一助としたいと考えました。

また、発達障害は「神経発達症群」とWHOなど国際的な定義が改定されましたが、D-PORTが一貫して重視してきた、身体・感覚・運動の側面から、作業療法士の宮崎先生にご講演いただきます。

宮崎先生は、D-PORTの開催する発達障害者のグループに長期間協力下さり、まだ殆ど取り組まれていない大人の感覚統合の実践にも取り組んで来ておられます。こうした実践に基づき、職場で役立つ、多様な評価や対応の視点を報告提案いただき、各現場で活かすことで、安定した雇用の実現のきっかけとなると考えています。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

■日時 令和6年12月21日(土) 13:30～16:30(予定) (受付:13:00～)

■場所 奈良女子大学 S棟 235号

■内容 (途中10分程休憩をはさみます)

体験発表：発達障害当事者 数名

アンケート報告：D-PORT 中屋

講演：作業療法士からの提案「職場で役立つちょっとした工夫～身体感覚運動の視点から～」

宮崎 義博 氏(作業療法士 フリーランス)

質疑応答

■対象 障害者雇用に関心のある企業・自治体・大学等、当事者、家族、支援機関等

■定員 200名程度(参加費無料)

主催：奈良県、精神障害者・発達障害者雇用企業サポート事業(D-PORT)

共催：奈良女子大学文学部人間科学科心理学コース

第2回「発達障害当事者が語る就労体験／ 作業療法士からの提案 「職場で役立つちょっとした工夫～身体感覚運動の視点から～」

【講師紹介】

宮崎 義博 氏（作業療法士 フリーランス）

- ・福岡県糸島市出身（「おむすび」の主人公と同じです！）
- ・京都教育大学教育学部情報数学科 京都大学医療技術短期大学部作業療法学科 卒業
- ・奈良県総合リハビリテーションセンター 奈良県障害者総合支援センターにて 子ども地域支援事業立ち上げにかかわる
- ・ハートランドしぎさん 子どもと大人の発達センター室長、発達センター設立にかかわる
- ・2020年4月よりフリーの作業療法士

★岩坂英巳先生と共著「うまくいかない」ことが「うまくいく」に変わる！

発達障害のある子どもがいきいきと輝く「かかわり方」と「工夫」



【申込方法】

1. 氏名（ふりがな） 2. 所属 3. 電話番号 をお願いいたします。

※頂いた個人情報、当講演会の申込のためだけに使用させていただきます。

※警報発令など、やむを得ない事情で中止の場合に連絡させていただきますので
連絡のつく電話番号をお知らせください

① メール利用

申込アドレス narakigyosp.coor5084@gmail.com

② QRコード利用



③ 電話利用 0742-81-3093

①メール②QRコードでの申込が難しい場合は、お電話でお申込ください。

申込メ切

12月

14日

(土)



【会場のご案内】

奈良女子大学 S 棟 235 号

※ご来場の際はできるだけ、公共交通機関をご利用ください。駐車場はございませんので、お車でお越しの際は、お近くのコインパーキングをご利用ください。

【問い合わせ】

D-PORT: 中屋・和田

TEL : 0742-81-3093